

平成 19 年の主な事業

- ・ 北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン【2月】
平成 18 年 10 月から工事を進めてきた「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」が、2 月 1 日、JR 札幌駅にオープンします。この情報館は、札幌市と北海道が連携して「観光案内」および「食の魅力の発信」の拠点とする施設。12 月に先行オープンした「北海道どさんこプラザ札幌店」に加えて、日本最大級の観光案内所を設けるほか、道産食材を利用した軽食の提供や観光イベントなどの PR をするスペースを設けます。
担当：観光文化局観光部観光企画課 211 - 2376
- ・ 中央卸売市場全面オープン【2月】
施設の全面建て替えを行う再整備事業を進めてきた中央卸売市場が全面的にオープンします。平成 10 年度の再整備開始からこれまでに立体駐車場、水産棟、青果棟、管理センターが完成していますが、平成 19 年 2 月にはセンターヤードと廃棄物処理施設がしゅん工し、全ての施設が完成となります。
担当：経済局中央卸売市場管理課再整備担当 611 - 3116
- ・ 中の島まちづくりセンター・地区会館の完成【2月】
施設が老朽化したため、平成 18 年 4 月から改築工事を進めてきた中の島まちづくりセンター・地区会館（豊平区中の島 1 条 4 丁目）が完成します。改築に当たってはワークショップを開催し、建物の設計に地域住民の意見を取り入れました。
担当：市民まちづくり局地域振興部振興課 211 - 2253
- ・ 2007 年 FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催【2～3月】
2 月 22 日から 3 月 4 日までの 11 日間、「2007 年 FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会」が開催されます。アジア地域では初めての開催となるこの大会はノルディックスキー競技の世界一決定戦で、ジャンプ・ノルディックコンバインド（複合）・クロスカントリーの 3 競技（18 種目）に 48 カ国から 550 人の精鋭が集い、札幌を舞台に熱い戦いを繰り広げます。（参加国数および選手数は 12 月 15 日現在）
2007 年 FIS ノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会 281 - 2007
- ・ 市立札幌病院感染症病棟の完成【3月】
平成 18 年 7 月から新築工事を進めてきた市立札幌病院感染症病棟が 3 月に完成します。同病棟は、エボラ出血熱などの「一類感染症」に対応する病室 2 室（2 床）とジフテリアなどの「二類感染症」に対応する病室 3 室（6 床）を整備するもの。病室内の気圧を外部より低く保ち、病室からの空気流出を防ぐ「陰圧式病室」や、排水を蒸気滅菌する「排水処理設備」など特殊な設備を導入して、外部への感染拡大を完全に防ぎながら、感染症患者の治療を行います。
担当：保健福祉局健康衛生部地域保健課 211 - 2306

- ・ 信濃小学校・伏見中学校新校舎の完成【3月】

校舎が老朽化したため、平成18年6月から建て替え工事を進めてきた信濃小学校（厚別区厚別中央4条3丁目）と伏見中学校（中央区南16条西17丁目）の新校舎が3月に完成します。両校とも、車いす利用者でも使いやすいエレベーターやトイレを設けるなどバリアフリー化を図っているほか、校内の暖房エネルギー量の減少や建物の長寿命化に効果のある外断熱工法を採用しています。

担当：教育委員会総務部計画課 211-3832

- ・ 地下鉄中島公園駅にエレベーター等が完成【3月】

地下鉄中島公園駅構内に平成17年度から工事を進めてきたエレベーター3基と障がい者用のトイレが3月に完成します。地下鉄駅へのエレベーター等は平成20年度末までに全駅に設置できるよう整備を進めていて、今回の完成により、全49駅中、整備済みが44駅、整備中が2駅、設計済みが3駅となります。

担当：保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 211-2976

- ・ 東区保育・子育て支援センターオープン【4月】

区における子育て支援の拠点として建設を進めてきた東区の保育・子育て支援センター（愛称：「ちあふる」）が4月にオープンします。同施設は、道営光星第1団地との合築施設になっている新生保育園を、同団地の耐震改修改善工事に併せて再整備したもので、豊平区・西区・手稲区に続き4区目の開設となります。従来の保育所としての機能に加え、一時保育事業などの特別保育事業を積極的に推進するほか、育児不安や疾病、養育困難などに関する相談に対し、区保健センターや他の乳幼児施設、児童福祉総合センターなどと密接に連携して対応するなど、子育て支援の推進を図ります。

担当：子ども未来局子育て支援部保育課 211-2986

- ・ 水道記念館のリニューアルオープン【5月】

平成17年12月から進めてきた水道記念館の改修工事が3月末に完了します。水道記念館は、札幌市の創設浄水場である旧藻岩第一浄水場の建物を活用し、昭和52年に開館しましたが、隣接する藻岩浄水場の改修工事に伴い平成9年から休館していました。新しい水道記念館は、市民と水道事業のコミュニケーションをはぐくむ接点となることを目指し、水道の仕組みや水道と自然環境のかかわりを楽しく学ぶことのできる参加・体験型の展示室や、水に関連する情報が閲覧できるライブラリーのほか、小さな子どもが遊ぶことができるキッズルームなどを設置し、5月下旬から一般公開する予定。また、記念館のオープンに合わせて、記念館前面の配水池上面を広場として整備し一般開放します。

担当：水道局総務部総務課 211-7007

- ・ **国連軍縮会議【夏ごろ】**

平成 9 年と平成 16 年に続いて札幌では 3 回目となる国連軍縮会議が開かれる予定です。平成 19 年は「札幌市平和都市宣言」を行ってから 15 周年という節目に当たることと、国際社会において新たな核兵器拡散の脅威が懸念されていることから、国内外の多くの方々があらためて国際平和の問題を真剣に考え、その実現に向けて手を携える契機になることを期待して誘致したものです。

担当：総務局国際部交流課 211 - 2032

- ・ **東部スラッジセンター運転開始【10月】**

平成 15 年 7 月から白石区米里に建設を進めてきた東部スラッジセンターが 10 月から運転を開始します。同センターは、豊平川の東側に 3 カ所ある下水処理場で個別処理していた汚泥を集中処理して焼却する施設で、焼却後の灰はセメントの骨材などとして再利用されます。今後は、既存の西部スラッジセンターや汚泥を堆肥（たいひ）化する厚別コンポスト工場とともに、下水汚泥を処理して長期的に安定して有効に利用することが可能となります。また、この施設の運転開始により、温室効果ガス発生量の削減、下水汚泥処理コストの低減、汚泥の資源としての活用、エネルギーの効率的な使用などの効果が期待されます。

担当：建設局下水道河川部下水道計画課 818 - 3441